

令和5年度 第3回 浜松市立神久呂中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年12月12日（火） 午後3時00分から午後4時15分まで
- 2 開催場所 浜松市立神久呂中学校 大会議室
- 3 出席委員 池谷 昭広、原田 功、谷井 文明、池谷 友美子、内藤 由美香、加藤 六明、宮澤 俊英、伊藤 直樹、鈴木 千丸
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 村松 俊司（神久呂協働センター所長）、和久田 ゆかり（主任児童委員）
- 6 学 校 今明 薫（校長）、榊原 早苗（教頭）、小栗 慎二（教務主任）、中島 潤（CS担当）、河合 恭子（CS担当）、鈴木 佳子（2年学年主任）、森田 美和（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（浜松市教育委員会教育総務課）
- 8 傍 聴 人 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 森田 美和
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤六明委員を推挙する旨の発言があり出席委員全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）3年生の進路面接について
- （2）2年生職場体験、家庭科ボランティアの振り返り

12 会議記録

司会の中島から、委員総数9人の全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

会議の前に委員の皆さんに授業を参観していただき、2学期の行事や今日の授業の様子について感想をいただいた。子どもたちの授業に向かう真剣な姿勢や、行事に生き生きと参加している様子は楽しそうでもとてもよいと感じた。また、タブレットの活用方法や、コロナ禍明けの行事の取捨選択、豊富で分かりやすい掲示などについての御意見御感想があった。

（1）3年生の進路面接について

中島先生より、1月に実施予定である3年生の面接練習の実施計画の詳しい説明があった。

- ・ 昨年の面接で気になったが、受験高校や成績など個人情報が出ないように、事前にしっかりチェックしていただきたい。（池谷会長）
- ・ 昨年度は、とても楽しく参加できた。（内藤委員）
- ・ 少し真面目にやり過ぎた。（池谷会長）
- ・ 私たちのグループはうまくできたと思う。（内藤委員）
- ・ 決められた時間を守るように特に気を付けて面接を行った。（原田委員）
- ・ 目安となる時間や質問など用意してもらえるのか（加藤委員）
- ・ 面接時の所作や、マナー、話し方などに注意して生徒の様子を見てもらいたい。一般的な質問事項を今年も学校で用意する。（中島先生）
- ・ 昨年同様、生徒4、5人のグループで面接をやるのか。（谷井委員）
- ・ 子どもたち個々の話すペースがあり、長く話したり少し待ったりすると、どうしても時間が延びてしまう。昨年は、用意された質問以外にもいくつか質問してしまった。中学生らしい回答が多

かったが、おとなしい子が多いと感じた。特に女の子の声が小さかったので、もう少し覇気があるといいと思った。(池谷友委員)

- ・ 昨年の面接練習後に、子どもたちからこうして欲しかったという意見はあったか。意見を言ってくれたほうがこちらとしても、もっとよい練習ができるように話合いできると思う。(原田委員)
- ・ 昨年度の面接後のアンケートでも、子どもたちから面接練習を行って、自分のためになったし、自信もついたという意見がほとんどだった。(中島先生)
- ・ 子どもたちの本音はどうだったか。こうして欲しかったと悪い意見があると、それをもとに改善できることもあると思う。(原田委員)
- ・ 否定的な意見は本当になかった。学校でいつも顔を合わせている人以外の大人と緊張感の中で面接練習ができたことは、学校も子どもたちもとてもありがたかった。(教頭先生)
- ・ 私は評価を記入する担当だったが、子どもたちの話し方や所作を直接その場で直したほうがいいのか。どのような言い方であればいいか。(内藤委員)
- ・ 「こうした方がいいと思うよ。」と具体的にやさしく、御指導いただけると助かる。(教頭先生)
- ・ マナーや面接時のルールを評価するというよりは、教える形でいいのか。(伊藤委員)
- ・ 今年度は学校で面接の練習をしてから最後の面接練習をお願いすることになるので、ほぼ完成した形で行えるのではないかと思う。(教頭先生)

(2) 2年生職場体験、家庭科ボランティアの振り返り

2年学年主任の鈴木先生より職場体験の生徒の様子や感想を交えながら、体験学習の実施報告と、お礼があった。

サポートしていただいたコーディネーターの委員の方々に成果と課題について言及していただいた。

- ・ 子どもたちに自信がもてたり、やる気、行動の変化が見られたとのことだったので、とても遣り甲斐があった。子どもが自分はこんなことができるのだと知ることができ、できるようになったことで、今後の授業にどのように生かすことができるか、学校でもいろいろな方向から手助けいただけたらと思う。自信をもったところにさらなる活動ができれば、次に繋がるよい体験になるだろう。(谷井委員)
- ・ 職場体験をしたということで意識が変わったと聞いて、いろいろな企業に電話してアレンジできてよかったと思った。コロナが明け、新規で受け入れてくれた企業が増えたことはよかったが、今後何年も続けるためには、これからも新しい受け入れ先を開拓していかなければいけない。受け入れ先が遠くなれば、公共交通機関を使用したり、保護者の協力が必要になってくるだろう。保護者の送迎の協力があればもう少し遠くの企業や、交通の面で不自由なところも開拓できるかもしれない。子どもたちにリサーチして、このような仕事をしてみたいという企業をリストアップしていただければ、それに沿って企業の選定ができる。もっと子どもたちの希望に添えることができるかもしれない。後、水曜日、木曜日の定休日の店が多いのでその点も考慮いただけると今後が楽になるかもしれない。(加藤委員)

教頭先生より家庭科支援についての報告と協力していただいた皆さんにお礼があった。

ボランティアに参加していただいた池谷友委員に感想をいただいた。

- ・ とにかく楽しかった。子どもたちがもっと積極的に声をかけてきてくれると、もっとよかったと思う。裁縫は進み具合に個人差があり、教える大変さを感じた。今まで先生が1人で教えていた

と思うと大変だっただろうと思った。このような機会にお手伝いできて本当によかったと感じた。(池谷友委員)

- ・今回お手伝いしてくれた地域の方々は、子どもたちに頼られることで楽しかったと思う。この支援を通じて、ボランティアをした方々の繋がりもできたようで、学校以外でも連絡を取っているようだ。学校活動に参加するのは敷居が高いというイメージだが、頼られてうれしかったと思う。

(宮澤委員)

- ・男性も参加していただけると、授業が締まっていいと思う。(池谷友委員)
- ・昔は、男性は家庭科の授業がなかったし、ミシンができる人はあまりいないので難しいと思う。(宮澤委員)
- ・地域の方が学校に入って支援するということはとても素晴らしいことだし、子どもたちに関わることで成長のお手伝いができ、我々にとってもうれしいことだと思う。地域の方々に学校を知ってもらいきっかけになったと思う。これからも続けていきたいので、もし知り合いがボランティアをしたいと言う人がいたらぜひ教えてほしい。(加藤委員)

その他連絡事項

- ・司会から、次回令和5年度第4回の議会の開催時期は、令和6年2月22日(木)午後3時より、大会議室で開催する旨の報告があった。
- ・教育総務課より、学校運営協議会自己評価表についての説明があった。